

「全員参加でさらなる活力」



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

# 東京昭島中央ロータリークラブ

2011 年(平成 23 年)9 月 28 日(水)  
第 1044 回 例会報告

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

## ●本日の司会

(曳地 義正 SAA)



## ●開会点鐘

(佐藤 義弘会長)

## ●ロータリーソング「我らの生業」斉唱

## ●本日のお客様

多摩中グループガバナー補佐 藤波 璋光様

多摩中グループグループ幹事 中里 芳治様

米山奨学生 郭敏榮さん



## ●会務報告

(佐藤 義弘会長)



ガバナー公式訪問の詳細についてお知らせします。日時は 10 月 13 日(木) 10 時～13 時 30 分、場所はフォレスト・イン昭和館例会場「桃林」になります。9 時 30 分～10 時までガバナーのお出迎えを会長・会長エレクト・幹事・副幹事の 4 名でいたします。それから懇談会が 10 時 20 分～11 時 50 分までございまして、一般の会員は 11 時 20 分～11 時 50 分の間に登録をしていただくことになっています。親睦・SAA・出席の方々

は 1 時間前に集合をお願いいたします。13 時 30 分の閉会后、会長・会長エレクト・幹事・副幹事でガバナーの見送りをいたします。こちらの例会については、出欠の確認を取っていますので今月末までに連絡をお願いいたします。9 月 14 日(水)比留間会員が地区補助金委員として委員会に出席しております。9 月 18 日(日)子ども用車椅子の整備を交運社熊川工場で行いました。石岡国際奉仕委員長をはじめ 10 名の会員の皆様、当日は炎天のもと整備をしていただきありがとうございました。9 月 20 日(火)六団体協議会に会長・幹事で出席しました。こちらで昭島ソロブチミストより、11 月 25 日(金)にフォレスト・イン昭和館でウクライナの歌姫を招いて東日本大震災復興支援チャリティーコンサートを開催するという報告がありました。会員の皆様には、是非ご出席をお願いしたいということでした。本日、昭島市役所で開催された新年賀詞交歓実行委員会に私が出席いたしました。11 月 11 日(金)RI 第 3650 地区(ソウル市)地区大会が開催予定です。詳細は幹事までお問い合わせください。

## ●幹事報告

(蜂巣 義和幹事)



11 月 14 日(月) 2750 地区の新会員セミナーが入会 3 年未満の会員を対象に開催されます。事前の FAX にてお知らせしていますが、出欠の有無・アンケートの回答を事務局までお願いいたします。

11 月 7 日(月) 東京銀座新 RC で聖路加国際病院の理事長日野原重明先生の東日本震災復興チャリティー講演&コーラスが開催されるそうです。詳細につきましては、幹事までお問い合わせください。

本日、緊急の理事会を開催いたします。理事の皆様、出席をお願いいたします。

## ●クラブ協議会

### 「クラブ活性化のための長期計画について」

#### ★主旨説明

(西野 勝介長期計画委員長)



本年、RI 会長の強調事項に「継続」と「変化」が挙げられております。クラブが得意とすることを継続しながらレベルを高める、変化については、改善できる所は改善し、必要でない所は変えていくことと概況書

に書かれております。ロータリーには変えるべきものと変えてはならないものがあります。変えてはならないものはロータリーの理念・奉仕の哲学などです。変えるべきものはというと、クラブの運営・奉仕プロジェクト・例会の持ち方などです。

長期計画を策定するにあたって、まず自分のクラブの現況を認識することが大切です。クラブの運営と外へ向けての奉仕プロジェクトの二つが長期計画の柱ですが、時間に限りもありますので今日は奉仕プロジェクトの中でも当クラブが主催している野球教室について検討したいと思います。16年間、継続している野球教室ですが、継続の中で前年を踏襲するための野球教室であったのか否か、活動をマンネリ化させない様に十分に検討を重ねることが長期計画の始まりです。

まずは、野球教室のスタートの頃から一番よく動いてくださっている内藤会員に野球教室のきっかけ、経過、問題点、今後についてなどお話をいただきます。

#### ★青少年野球教室について

(内藤 征一会員)



野球教室は早いもので17年目になります。ロータリークラブとして継続事業はいけないというのを、当時はよく聞いていましたが、徐々に変わってきて今では継続事業は大変良いというようになりました。

第1回は大沢会長、村野幹事、中野新世代委員長、荒巻社会奉仕委員長の4人のメンバーで始まりました。クラブの主催として初めての事業でしたが、500名の子供達と父兄の方に参加していただきました。大変盛り上がりましたが、ある程度お金も掛かりましたので我々としてはこれで終わりにするか、そうでなければ3年に1回にするかと考えていました。しかし、野球連盟の方に来年もやってくれませんかと言われ、またコーチの宮田さんもいつでも来ますよとくださったので、それなら我々も頑張ろうということで、これまで16年間続けてきました。宮田さんは子供達に野球を教えることに大変熱心でありまた優しい方で、我々も誘われて何度か読売巨人軍の練習風景を見に行ったり、群馬の実家まで遊びに行ったりしました。それから、及川さんが会長で私が幹事の時に、宮田さんへ講演会のお願いをしたところ快く受けてくださって、当日は600名の椅子がほぼ埋まりました。

宮田さんがコーチに来る時には必ず3名くらいの若い選手を連れてきました。そのメンバーに木田さんが最初から入っていて、宮田さんのやり方を見ていました。残念ながら宮田さんが5年前に病気で亡くなりまして、木田さんに相談したところ、是非後を継ぎたいということで今日までできました。宮田さんも優しい方でしたが、木田さんも優しく穏やかに野球に対する信念を持って子供達に教えてくれています。

このような流れでやってきましたが、長くやればなんでもよいということでもありませんし、新しくやるのもそれはそれでよいのではないかと思います。

もう一つ付け加えますと、野球連盟は小学6年生の卒業時に毎年送別大会というのをやっているのですが、当クラブはトロフィーと盾を贈っています。野球連盟が作ったパンフレットをみると、「東京昭島中央ロータリー杯争奪大会」となっていて、裏には四つのテストが書かれています。また、決勝戦には会長・幹事が呼ばれて表彰式に立ち会っています。

#### ★提言 1

(伊藤 満雄会員)



青少年野球教室も非常に伝統があるものですが、青少年の健全育成ということでは私どもが平成元年からやっている柔道大会も貢献しております。現在、立川市柔道連盟が主催としまして立柔杯という名称で毎年11月3日に多摩地区の子供達約800名が集まって立川の泉体育館で開催しています。柔道大会の前に30分程オリンピックや世界選手権で優勝した選手などを招いて、柔道教室をやっています。選手達は自分の得意技などを子供達に親切丁寧に教えます。それを見て強くなったのが、最近活躍している中村美里です。彼女は小学校の頃から参加しています。去年のジュニア大会で優勝した田代未来などもそうです。大会に参加した子供達からオリンピックを狙えるような選手が出てきて、やった甲斐があったと思います。

野球と一緒に目標は青少年の健全育成でありますので、優勝することも大事ですが、正しい柔道・正しい礼法を教えていこうということでやっております。大会では参加賞・商品・盾・メダルを渡しますが、これはかなりの額になります。国立・立川・昭島近辺の個人、法人に広告による寄付を頂いて運営しております。出来れば当クラブからも多少なりのご支援を頂ければと思います。

野球と一緒に目標は青少年の健全育成でありますので、優勝することも大事ですが、正しい柔道・正しい礼法を教えていこうということでやっております。

大会では参加賞・商品・盾・メダルを渡しますが、これはかなりの額になります。国立・立川・昭島近辺の個人、法人に広告による寄付を頂いて運営しております。出来れば当クラブからも多少なりのご支援を頂ければと思います。

#### ★提言 2

(佐々木 稔郎会員)



変化ということで提案をしたいと思います。私は東日本大震災の現場を何回か見に行ってきました。皆さん仮設住宅や避難所に住んでいますが、一番問題になっているのが仮設に入らない方々です。それは、家は流されていないが、1階はやられてしまっていて2階は住めるような状態の



人達で、電気も水道もなく住むスペースだけがあります。そのような人達は、補助もなく物資も回って来ず大変な生活をしているわけです。それぞれに色々な問題がありますが、仮設ではうつなどによる自殺者が増えているそうです。そのような人達には傾聴とって話を聞いてあげるボランティアがあります。また言葉遣いが悪いとか PTSD によって暴言を吐くといった子供の問題に対するケアも必要です。

地元のロータリーももちろんやっているとありますが、我々もこれらに対する長期的な支援が出来ればと思います。

### ★提言 3

(前澤 外喜男会員)



野球教室ですが、私も 16 年参加しております。青少年育成事業で行うべきことは全てやっていると思いますので、今後何か新しい事業があれば佐藤年度で次年度について検討してはどうでしょうか。

### ★講評 (多摩中グループガバナー補佐 藤波 璋光様)



野球教室を 16 年続けてこれられたということで、うちのクラブには無いものでさすがだなと思いました。

それから、先程佐々木さんの提言にありました復興支援ですが、7 月から毎月 1 回復興支援地区委員会というものがあります。

先日 3 回目の委員会で骨子が固まってきました。色々なクラブをまわっていると義援金はどのような使い方をしているのかとよく聞かれます。現在、2750 地区の支援金の残が 9,500 万円あります。例えば 250 万円の支援をしたいという案件がですと、4 割はクラブで持ち、6 割は 9,500 万円の中から出しましょうとなるわけです。

2 回目の委員会の時に片倉ガバナーが、現地に行かなければ何が必要か分からないということで、10 月 8 日・9 日に仙台へ行くことになりました。塩釜ロータリーの提案では復興震災産業会館が欲しいということで、5 億 6,000 万くらいかかるそうです。全国の地区から集めても 3 億くらい足りないそうで、各地区にお願いがきていますが、2750 地区は手を挙げています。私も初めてのことでどこまで応援出来るかわかりませんが、頑張りますのでよろしく願いいたします。

### ★講評 (多摩中グループグループ幹事 中里 芳治様)

震災復興の件で私が思うことは、クラブ単体で何かをやるということは、難しいのではないかとことです。現地に行った人達の話をお聞きするとやはり人的支援が足りないそうです。あるクラブではボランティアの企画ツアーをしようという声もありました。長年

に亘るであろう支援を全体で協力しあいながらやっていければと思いました。

### ●出席報告

(石岡 孝光出席委員長)



会員数	44 名
出席義務会員	41 名
本日の出席	38 名

(メイクによる出席者数を除く)

### ●委員会報告

(石岡 孝光国際奉仕委員長)

9 月 18 日 (日) の車椅子整備では 40 台の車椅子の整備、梱包、トラックの積み込みまで終了する事が出来ました。ありがとうございました。

皆様に FAX でお知らせ済みですが、10 月にもう一度車椅子整備がございます。こちらは移動例会となりますので、出席をお願いいたします。

### ●委員会報告 (小島 弘明社会奉仕・環境保全委員長)



東北地方・岩泉町復興支援フェスティバルの報告をさせていただきます。

まずは、会員の皆様、郭さん、当日は暑い中来ていただきまして誠にありがとうございました。お陰様で大成功に終わりました。当日は 500 名以上の子供達が来てくれました。その売り上げは昭島市を通し岩泉町に直接義援金として佐藤会長の名前で送りました。

### ●米山奨学金授与

(渡邊 信義カウンセラー)



### ●次週例会予定

(荒川 義昭プログラム委員長)



10 月 5 日 (水)

規定審議会 (2013 年) に第 2750 地区より追加立法案提出に関する件

「パスト会長語る」

### ●閉会点鐘

(佐藤 義弘会長)

●ニコニコ BOX 発表 (今藤 貫徳親睦委員長)

- ◎佐藤会長 藤波ガバナー補佐様、中里グループ幹事様ご来訪ありがとうございます。よろしくお願いいたします。又、西野長期計画委員長、会員の皆様には本日のクラブ協議会よろしく申し上げます。
- 蜂巢幹事 藤波ガバナー補佐様、中里グループ幹事様ご来訪ありがとうございます。西野長期計画委員長様本日よろしく申し上げます。
- 下田会員 藤波 G 補佐、中里 G 幹事ようこそいらっしゃいませ。
- 内藤会員 本日は、ガバナー補佐藤波様、グループ幹事中里様、よろしくお願い致します。
- 西野会員 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事の歓迎を祝して。又、久邇年度には大変お世話になりました。
- ・荒川会員 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事ご来訪誠にありがとうございます。西野長期計画委員長本日よろしくお願い致します。
  - ・今藤会員 藤波ガバナー補佐様、中里グループ幹事様ようこそ。
  - ・小島会員 ガバナー補佐、グループ幹事ご来訪ありがとうございます。先日、被災地の浪江町の親友一家が、遊びに来ました。立ち直り、新天地で一から再起するとの事で嬉しかったです。
  - ・中野会員 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事ようこそおいでいただきました。
  - ・本田会員 ガバナー補佐、グループ幹事の来訪を祝して
  - ・山中幸子会員 藤波ガバナー補佐様、中里グループ幹事様先日の卓話のときはお世話になりました。
  - ・山中秀一会員 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事のご来訪を祝して
  - ・渡邊会員 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事の来訪に感謝して



9月18日(日)

海外に子ども用車椅子を送る事業 車椅子整備の様子